

■ 早期交通開放型コンクリート舗装技術

守谷商会在が導入して施工

長水生コン組合が技術提案



建設業の(株)守谷商会在は、現在長野市内で施工中の道路工事で、養生期間が1日で済む早期交通開放型コンクリート舗装技術「1DAYPAVE」(ワンデーペイブ)を導入し、11月26日に施工した=写真。

施工場所は人通りが多く、車両も頻繁に通行する道路のため、地元から早期解放の要望が出ており、短時間での工事が必要だと感じ、長水生コンクリート事業協同組合に相談したところ、同技術の提案があり、導入を決めた。

ワンデーペイブは、コンクリート舗装の課題だった舗装後の現場の早期解放について、生コン工場で普段入手できる材料を使い克服するため開発され、国土交通省の「NETIS(新技術情報提供システム)」にも登録されている。通常の

舗装工事は、初期強度を高めるため、養生に約1週間ほどの期間が必要だが、この技術だと1日に短縮できる。材料はセメントに早強セメントを使用し、今回の配合は、曲げ4.5-40-25 H、舗装用コンクリートの水セメント比を38%にした。工事は午前9時から2時間半ほどかけて、延長36m、幅員4.35mの路盤約24㎡を打設し、夕方には固まったコンクリートの上に歩行者用マットを敷き、歩行者の通行を可能にした。

守谷商会在土木事業本部の高野貞美工事所長は「こうした技術は安全管理や地元対策の上で大きなメリットがある」と話し、同組合の関谷信二氏は「今後も施工者の生の声や事例を生かしながら、ワンデーペイブを普及させていきたい」と技術の普及に意欲を見せた。

中部建設工業が寄付 長野市に感謝祭売上を



中部建設工業は10日、11月3日に開催した「ちゅうぶ感謝祭」の売上金を長野市に寄付した。同社の加藤誠社長、宮尾秀夫経理部長らが加藤久雄市長を訪問し売上金を手渡した=写真。感謝祭は同社が関連会社の協賛で2006年から毎年開催している。

加藤社長は「地域の人があるの企業と考え10年間感謝祭を続けてきた。社員、協賛各社が集めた物を地域の皆さんに買ってもらったお金を障害福祉のために使ってほしい」と述べた。

今年は若い社員が中心になって企画、実行委員の佐藤政宏さん、佐藤徳子さんが、加藤市長に「乗る機会の少ない働く車コーナーでは、子どもらがとても楽しい顔をしていた」「交流の機会が少ない土木と建築の社員が一緒になってイベントを盛り上げることができた」と説明した。

加藤市長は「地域とのふれあい、社内の交流も深まる素晴らしいイベント。今後も継続してほしい」と感謝した。今年は売上金11万956円を寄付、10年間で計132万2,124円となった。



ガスだからできることがあります

軽快な「鍋振り」ができるのもガスの炎なればこそ。こうしたあたりまえの「普段づかい」に、最新ガス機器ならではの「もうひとクラス上」の美味しさ、快適さをお届けします。



長野都市ガス株式会社

長野市鶴賀1017番地
☎026(268)0531(代)